

人口減少下における 地方創生2.0とデジタル活用

令和7年 **3月10日** (月) 13:30 ▶ 17:00

ハイブリッド
開催

現地会場
オンライン

新潟駅前「NINNO3」：定員70名（先着）
YouTube Live 及び Zoomウェビナー：定員なし

基調講演



地方創生2.0とデジタル行財政改革

内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局
兼 デジタル行財政改革会議事務局 参事官

小林 剛也 氏

特別講演



人口減少下の町デザイン ～津南町における地方創生の取組～

新潟県津南町 町長
(新しい地方経済・生活環境創生会議 有識者構成員)

桑原 悠 氏

100問100答

リアルタイムアンケートを活用し、時間の許す限り多くの質問にお答えします

事例 1

へき地におけるオンライン診療モデル事業

新潟県福祉保健部 地域医療政策課

事例 2

ドローンによる災害時インフラ構築事業

新潟県阿賀町 総務課

事例 3

地域公共交通の未来を担う自動運転事業への挑戦

新潟県弥彦村 総合政策課



タイムテーブル

13:30	開会挨拶	総務省信越総合通信局長 田口 幸信
13:40	基調講演	地方創生2.0とデジタル行財政改革 内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局 兼 デジタル行財政改革会議事務局 参事官 小林 剛也 氏
		昨年秋、政府は、地方創生2.0を打ち出しました。基調講演では、現在政府が取り組む地方創生2.0の主な内容や過去10年間の全国各地での地域活性化の取り組みを紹介します。また、2023年秋に発足したデジタル行財政改革会議では、人口減少社会の中で、デジタル技術の活用等により地域の公共・準公共サービスを維持し、社会変革を促すための各種取り組みを進めており、その内容と実例をお話します。
14:20	特別講演	人口減少下の町デザイン～津南町における地方創生の取組～ 新潟県津南町 町長 桑原 悠 氏 (新しい地方経済・生活環境創生会議 有識者構成員)
		津南町の現在の人口は約8500人。2050年には4700人ほどに減少する推計です。人口減少が進む中で、あらゆる分野における人手不足を解消し、持続可能な町をデザインするにはどうすればよいか。多くの課題に直面しながら、デジタルを活用したスマート農業、空き店舗活用のテレワークオフィス開設等の様々な施策に取り組み、時代の変化の中でどのように向き合い挑戦してきたかについて、地方創生に関する私見や今後の展望を交えてお話します。
15:00	100問100答	リアルタイムアンケートを活用し、1問1答形式で、時間の許す限り多くのご質問にお答えします。
15:25		～ 休憩 ～
15:35	事例1	へき地におけるオンライン診療モデル事業 新潟県福祉保健部 地域医療政策課
16:00	事例2	ドローンによる災害時インフラ構築事業 新潟県阿賀町 総務課
16:25	事例3	地域公共交通の未来を担う自動運転事業への挑戦 新潟県弥彦村 総合政策課
16:50	閉会挨拶	信越情報通信懇談会 デジタル社会推進・コンテンツ委員会 委員長 新潟工科大学 工学部教授 佐藤 栄一
17:00	閉会	



会場案内

新潟駅前「NINNO3」RoomF

〒950-0917 新潟市中央区天神1丁目1プラカ3 地下1階

- ◆ 駐車場のご用意はございません
お車でお越しの方は周辺の有料駐車場をご利用ください

お申込

下記URLまたはQRコードよりお申し込みください

申込期限：令和7年3月7日(金)13時まで

<https://www.shinetsu-icc.jp/250310digital-seminar/>

お問合せ

信越情報通信懇談会 デジタル社会推進・コンテンツ委員会 事務局
(総務省 信越総合通信局 情報通信振興課 利用促進担当)
TEL:026-234-9933 メール: shinetsu-event@soumu.go.jp

共催：総務省信越総合通信局、信越情報通信懇談会 後援：新潟県

